

大桑 第83号 10月号 まさたか



さかえく せかい か
栄区から横浜を変える！

JR大船駅・本郷台駅・港南台駅のいずれかで！

栄区から、しがらみのない市政(政治)を実現します！

市議員2期目

よろしくお願いします！

市議員としての約束

- 1、選挙の前も選挙の後も駅前に立ち続け新聞(広報)を配り続けます。
- 2、大桑まさたかの政務調査費を公開し続けます。
- 3、私たち市民が市政(政治)に参加する流れをつくります。
- 4、子や孫のために持続可能な横浜(社会)をつくります。

新型インフルエンザの拡大

これまでも大桑新聞でお知らせしてきましたが、新型インフルエンザの感染が横浜市内でも拡大しています。横浜市内の正確な感染者数を把握することはできませんが、夏休みが明けて横浜市立の学校では学級(学年)閉鎖の数が増えています。

平成21年9月18日現在、横浜市立の学校では、夏休みが明けてから、累計で71校83クラスが学級閉鎖となっています。この数字はあくまでも9月中旬の数字ですので、この新聞を配っている頃(10月)はどうなっているか分かりません。ただ、これからインフルエンザの感染が拡大しやすい季節になる以上、楽観的な希望は持つべきではないと考えております。

インフルエンザの感染拡大を防ぐには皆さんの日頃からの「備え」が非常に大切になります。「備え」といっても難しいことをする必要はなく、外出をし家に帰った時の手洗いやうがい、人ごみでのマスクの着用といった基本的なことです。是非、お願いします！

大桑新聞

プロフィール

大桑正貴(まさたか)

第83号(10月号)

連絡先

横浜市議員 大桑正貴(市政報告書)

〒247-0005 神奈川県横浜市栄区桂町688-4-601

TEL : 045-892-5187

FAX : 045-892-5187

<http://m-okuwa.net/>

E-mail : m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp

昭和48年(1973年)7月4日生まれ横浜育ち 血液型A型

横浜市立小山台小学校入学

大分県立大分舞鶴高校入学(1年次冬、転勤で横浜へ戻る)

神奈川県立大岡高校卒業

神奈川大学法学部法律学科卒業

平成14年(2002年)12月 アシスト株式会社退職

平成15年(2003年)4月 横浜市議員 初当選

平成19年(2007年)4月 横浜市議員 2期目当選

平成21年(2009年)9月 明治大学 専門職大学院卒業

趣味 : サッカー、バスケットボール

家族 : 妻、子(2人)、ママ(猫)、グリ(犬)

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅、いずれかの駅で配布しております。

8月分の収支報告(収入は政務調査費55万円/毎月)

平成21年度8月現在の政務調査費累計残高は**55,441円**です。

今月の支出の内訳

研究会・研修会費	1,560円	会議費	0円
調査研究費	12,120円	事務費	13,634円
資料費	7,170円	事務所費	87,422円
広報・広聴費	366,183円	その他	0円
人件費	40,420円		

8月の支出合計は

528,509円です。

近況報告

林市長になって初めての市会定例会が9月25日に終わりましたが、平成20年度の決算特別委員会が9月30日から始まっています。是非、市役所に足を運んで頂ければと思っております。また、私は9月の議会において、林市長に「財政健全化」と「小児科や産婦人科などの充実」についての質問をしました。この模様は、私のホームページからもご覧頂けます。

次に、10月に行われる参議院の補欠選挙に、栄区の市会議員の方が立候補することになり、8月に行われた市会議員の補欠選挙に続き、10月も市会議員の補欠選挙が実施される予定となっています。選挙が続きお騒がせしますが、ご理解頂けるようお願い致します。

横浜市長

中田宏前市長の突然の辞職により、平成21年8月30日に投開票があった横浜市長選挙は、林文子氏が当選され横浜市長となりました。あの横浜市長選挙から一ヶ月以上たちましたが、ここでは改めて横浜市長選挙の投票率などについてお知らせします。

今回の横浜市長選挙の投票率ですが、68.76%となっており、前回(2006年)の市長選の投票率35.30%の倍近くになっています。これは、衆議院選挙と同日選挙となった影響だと思われます。また、この選挙での林市長の得票数は、91万0297票となっており、過去最多の得票数となっています。

次に、栄区内の投票率は、72.44%となっており、横浜市内で投票率が一番高くなっています。ちなみに2位は青葉区の71.75%。3位は泉区の71.49%となっています。

最後に、今後も林市長が選挙時に公約として挙げた政策を本会議などにおいてしっかりと議論していきたいと思っています(実現できるもの・できないものなどを見極めるために)。特に今回の市長選挙は急遽実施されたため、林市長の具体的な政策が出てくるのは、平成22年度の予算編成においてではないかと考えています!今後、林市長の具体的な政策が出てきたときには、改めて、大桑新聞でお知らせします。

横浜市への要望

平成21年7月10日から7月21日の間に横浜市内に居住する5,000人(20歳以上で外国人も含む)に対して市民意識調査をおこないました。今回はその中でも、横浜市に対する要望で、上位のものを紹介します。

平成21年度の横浜市への要望の1位は「高齢者福祉」でした。また、2位は「病院や救急医療など地域医療」、3位は「防犯対策」となっております。今年の要望の1位~3位は平成20年(昨年)度の市民意識調査でも5位までに入っているものでした。この結果を踏まえ、皆さんの要望に少しでも応えられるよう努力していきます。

最後に、この市民意識調査は横浜市の市政運営や政策立案の基礎資料として活用しております。また、今回の結果は速報となっており、詳しい集計や分析結果は来年公表することとなっておりますので、その時に気になるものがあれば改めてご報告します。